

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

|                |               |    |        |              |
|----------------|---------------|----|--------|--------------|
| ○事業所名          | チャイルドウィッシュ江南  |    |        |              |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年 11月 1日   |    | ～      | 令和7年 12月 30日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)        | 8名 | (回答者数) | 8名           |
| ○従業者評価実施期間     | 令和8年 1月 4日    |    | ～      | 令和8年 1月 30日  |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)        | 5名 | (回答者数) | 5名           |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 8 年 2月 12日 |    |        |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること      | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等                                       |
|---|---|---|--|
| 1 | 1人1人の様子に合わせて支援をしていく中で自分らしく安心して楽しく過ごせる時間を提供すること。 | 自由時間には、それぞれがやりたい遊びを楽しめるよう意思を尊重し、環境を整えている。                                     | 子どもたちの成長やニーズの変化に対応していけるように支援員で情報を共有しながら、活動を充実化させていく。 |
| 2 | 1階と2階による構造化支援と、タイムスケジュールの明確化。                   | 集団活動の時間や、学習の時間などを設けてメリハリのある生活スケジュールを組んでいる。                                    | 学年が上がったり、発達状況に応じて都度整備していく。                           |
| 3 | 連絡対応と相談窓口の設置。                                   | LINEやInstagramを使った情報共有と連絡や相談がしやすい環境整備を心掛けている。また保護者交流会の実施や心理職員と面談をする機会を提供している。 | SNSを活用しながら、日々の送迎時などの連絡や必要に応じた面談を行っていく。               |

i

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                    | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                        |
|---|--|--------------------------------------|---|
| 1 | 活動が固定化されている。                               | 職員体制が不十分であったことから新しいイベント活動の実施ができなかった。 | 職員の補強。<br>話し合いの場を設け、開催に向けて準備を進めていく。         |
| 2 | 就学に向けての取り組みが不十分                            | 社内整備が整っていないかった。                      | 定期的な面談の実施。<br>保護者交流会の実施。<br>就学児童を対象とした個別支援。 |
| 3 |  |                                      |   |